

件名：刀川小学校閉校式・南雲小学校閉校式の開催 について

市教育委員会では、児童生徒のより良い教育環境を整えることを目的に、小中学校の再編統合を進めてきました。

平成29年4月1日に刀川小学校と三原田小学校、南雲小学校と津久田小学校が統合し、市内の小学校は、16校から14校となります。この統合により閉校する刀川小学校及び南雲小学校の閉校式を開催するものです。

1 刀川小学校閉校式

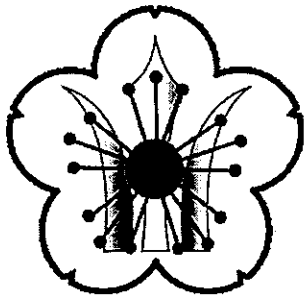
日 時 平成29年3月23日（木）午後2時～午後3時
場 所 渋川市立刀川小学校体育館
渋川市赤城町見立299番地
内 容 閉校式次第 別紙のとおり

開 校 明治7年1月25日 宮田学校の名称で開校
児童数 75人（平成29年2月1日現在）
卒業生 4, 144人（平成28年度卒業生含む）
統合後の三原田小学校の児童数（平成29年4月1日：見込）
217人（内、刀川地区児童73人）、普通学級数9
学校の概要 別紙のとおり（平成28年度学校要覧抜粋）

2 南雲小学校閉校式

日 時 平成29年3月24日（金）午後2時～午後3時
場 所 渋川市立南雲小学校体育館
渋川市赤城町長井小川田1435番地
内 容 閉校式次第 別紙のとおり

開 校 明治6年2月4日 横野小学校の名称で開校
児童数 34人（平成29年2月1日現在）
卒業生 4, 788人（平成28年度卒業生含む）
統合後の津久田小学校の児童数（平成29年4月1日：見込）
144人（内、南雲地区児童25人）、普通学級数6
学校の概要 別紙のとおり（平成28年度学校要覧抜粋）



渋川市立刀川小学校閉校式 次第

平成29年3月23日（木）

14:00 開式

刀川小学校体育館

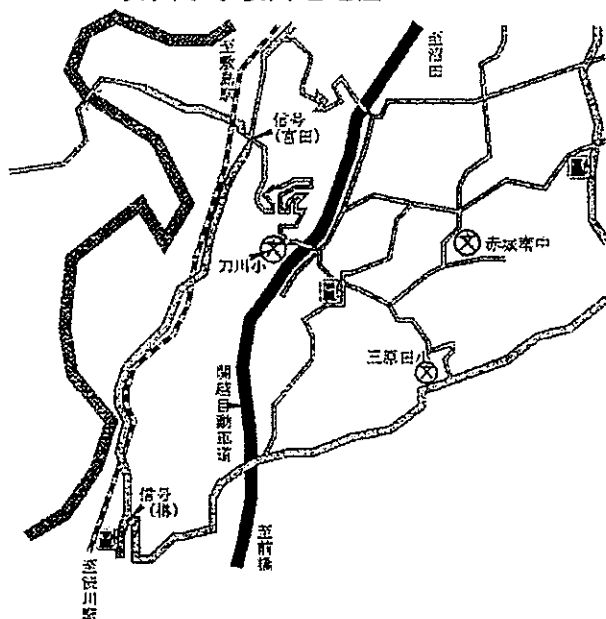
- 1 開式の言葉
- 2 国歌斉唱
- 3 主催者あいさつ 渋川市長
渋川市教育委員会教育長
- 4 学校長あいさつ 刀川小学校長 阿部 泰博
- 5 来賓あいさつ 渋川市議会議長
歴代PTA会長代表 岡崎 聡子 様
- 6 来賓紹介
- 7 閉校記念品授与 （市長から児童代表へ）
- 8 児童代表あいさつ 児童代表
- 9 児童合唱 全児童
- 10 校歌斉唱 刀川小学校校歌
- 11 校旗返納 （校長並びに児童代表から市長へ）
- 12 閉式の言葉

1 学校の概要

(1) 地域の概況

- 刀川小学校区は赤城西麓に位置する赤城町の南地区（旧横野村）の北半を占める。地域は西傾斜の山麓に広がり、標高 300m 附近の山麓部によって、山麓部と河岸段丘部に二分され、山麓部は発達した数条の輻射谷によって、台地と低地に細分される。
- 土壌は関東ローム層の上に黒土層、更に厚く積もったニッ岳噴火による浮石層に覆われ、その上に浅い耕土層がのっている、あまり農耕に適さない地域である。
- 歴史的には古く、縄文時代の遺跡「滝沢遺跡」や古墳時代の遺跡「寺内遺跡」を有し、また、上野九牧の一つ「押志牧」もこの地域と考えられ、本校の所在する台地は、「二城山」と呼ばれ、「不動山城」のあった所である。
- 行政区分では北上野・勝保沢・見立（一部）・滝沢（一部）の上郷（山麓部）、樽・宮田の下郷（段丘部）の6箇大字が通学区である。
- このような歴史的条件から、早くから村落は開けていたが、上の地理的条件から、山村的で、集落形態からいうと主として集村、東部は散村形態を持つ。
- 産業的には従来養蚕を主とする畑作農業であったが、最近の経済変動などから、農業が盛んでなくなってきた。わずかに段丘部での野菜・果実栽培農家、山麓部での養豚等の畜産関係農家を除き、専業農家はなくなり、会社員などの保護者が多くなっている。
- 地域の人々は、上記の産業形態から早くから換金経済が発達していたためか、文化度が高く、比較的都市的であったが、他地域が経済的に高まってきているので、平均的になった。しかし、進取の気性に富み、教育的関心は高いといえる。

刀川小学校周辺地図



(2) 児童の特性

- ① 明朗かつ素直で、あいさつもできる。
- ② 頼まれた仕事や清掃活動などきちんとできる。
- ③ 自主性、発表力等がやや弱い。

(3) 刀川小学校の由来

「刀川」の名は、学校の脚下を、すでに大河の趣を表して銀蛇のうねりを見せる利根川の名をとったものである。トネ川は、古来「利根」と書かれ、それが一般化されているが、「刀祢川」の文字も用いられた。特にこの書き方は文人墨客に好んで用いられた。「刀川」は「刀祢川」の首尾をとったものである。赤城山とその足下を洗う利根川とは、この地域のシンボルであるが、特に本校発祥の地宮田の岸を洗って悠々流れる利根の名をとって、「刀川」としたことは、地域人の文化度の高さ、文化を追求する心の表れとして、また、利根の流れの如く悠々たれと願う地域人の心の表れとして実によい名称である。

(4) 学校の沿革

創立

明治7年 1月25日	明治5年学校制度が太政官から発布され、樽・宮田・猫の三ヶ村で宮田宗伯寺に宮田学校として開校。
	初代校長 秋田啓太郎着任 入学生 男63名
明治7年 4月	初代校長 秋田 啓太郎 職を辞す
明治7年 9月	2代校長 大村 熊造
明治8年 12月	2代校長 大村 熊造 職を辞す
明治9年 1月	3代校長 沼田 貢
明治11年 5月	3代校長 沼田 貢 職を辞す
明治11年 7月	4代校長 荒木 峰太郎
明治11年 12月	4代校長 荒木 峰太郎 職を辞す
明治11年 12月	5代校長 那木 鼎
明治12年 4月	5代校長 那木 鼎 職を辞す
明治12年 5月	6代校長 沼田 貢
明治14年 3月	6代校長 沼田 貢 職を辞す
明治14年 12月	7代校長 岸忠夫
明治16年 7月	樽・宮田連合小学校と改称
明治16年 8月	樽・宮田連合小学校開校式挙行
明治18年	群馬県第18学区南勢多郡第11小学校分校となる。
明治18年 2月	7代校長 岸忠夫 職を辞す
明治19年 3月	南勢多第11北尋常小学校と改称
明治19年	8代校長 松本 誠一郎
	南勢多郡第11北尋常小学校私立刀川英学校併設
明治20年 3月	宮田尋常小学校と改称。
明治21年 2月	松本 誠一郎 職を辞す
明治21年 3月	9代校長 岩崎 寅治
明治23年 3月	9代校長 岩崎 寅治 職を辞す
明治23年 4月	10代校長 森本 亀六
	英学校を廃し、尋常高等小学校の組織に改める。
明治26年 1月	公立に改め、刀川尋常高等小学校と称する。
明治29年 3月	10代校長 森本 亀六 職を辞す
明治29年 4月	11代校長 都丸 伊代吉
明治30年 11月	11代校長 都丸 伊代吉 職を辞す
明治31年 5月	12代校長 津田 興起
明治35年 5月23日	12代校長 津田 興起 職を辞す
明治35年 6月3日	13代校長 星野 伝三郎
明治36年	尋常科に唱歌、女子に裁縫、高等科に農業加設。
明治38年 3月31日	星野 伝三郎 職を辞す
明治38年 4月1日	14代校長 内田 忠政
明治41年 4月	尋常科6年、高等科2年制となる。
明治43年 4月2日	内田 忠政 職を辞す
明治43年 5月3日	15代校長 角田 圓造

大正元年 7月	新校舍竣工（6教室）宮田村校舎より引越す。
大正9年 3月	15代校長 角田 園造 職を辞す
大正9年 4月	16代校長 鳥山 銀重郎
大正12年 3月	16代校長 鳥山 銀重郎 職を辞す
大正12年 4月	17代校長 津久井 平治郎
大正14年 1月	17代校長 津久井 平治郎 職を辞す
大正14年 3月	校舎増築（10教室）
	18代校長 井上 盛太
昭和6年 3月	18代校長 井上 盛太 職を辞す
昭和6年 4月	19代校長 清水 吉三
昭和8年 3月	19代校長 清水 吉三 職を辞す
昭和8年	20代校長 柴崎 峯造
昭和14年 3月31日	20代校長 柴崎 峯造 職を辞す
昭和14年 4月1日	21代校長 鈴木 茂作
昭和16年 4月1日	横野村刀川国民学校と改称「錬成教育」始まる。
昭和18年 3月31日	21代校長 鈴木 茂作 職を辞す
昭和18年 4月1日	22代校長 狩野 藤太郎
昭和19年 1月9日	22代校長 狩野 藤太郎 職を辞す
昭和19年 1月10日	23代校長 宮田 寛一
昭和21年 3月31日	23代校長 宮田 寛一 職を辞す
昭和21年 4月1日	24代校長 青木 万平
昭和22年 4月28日	横野村立刀川小学校となり、6年制となる。
昭和25年 1月26日	24代校長 青木 万平 職を辞す（敷島南小学校長となる）
昭和25年 1月26日	25代校長 石田 金太郎
昭和27年 3月31日	25代校長 石田 金太郎 職を辞す
昭和27年 4月1日	26代校長 小峯 丈夫
昭和31年 9月1日	横野・敷島村の合併、赤城村立刀川小学校となる。
昭和34年 9月21日	平屋校舎改築、給食室新築、完全給食始まる。
昭和35年 9月	県指定図書館研究会。
昭和37年 3月31日	26代校長 小峯 丈夫 職を辞す
昭和37年 4月1日	27代校長 狩野 勝平
昭和40年 2月	県指学校給食研究会開催。
昭和40年 3月31日	27代校長 狩野 勝平 職を辞す
昭和40年 4月1日	28代校長 嶋村 正彦
昭和41年 11月	県健康優良学校及優良児（女）表彰。
昭和41年 11月30日	開校90周年記念式挙行、新校歌制定。
昭和48年 3月31日	28代校長 嶋村 正彦 職を辞す
昭和48年 4月1日	29代校長 須田 健次
昭和50年 3月	幼稚園々舎落成。
昭和50年 3月31日	29代校長 須田 健次 職を辞す
昭和50年 4月1日	30代校長 細野 登代三郎
昭和50年 8月	新校舎起工式、建築工事はじまる。
昭和51年 4月	竣工式行われる（新校舎屋上）。
昭和53年 3月31日	30代校長 細野 登代三郎 職を辞す
昭和53年 4月1日	31代校長 阿久沢 光四郎
昭和55年 3月19日	落成式行われる（体育館）。
昭和56年 3月19日	落成式行われる（水泳・プール）。
昭和57年 3月19日	落成式行われる（家庭科室・理科室・音楽室・視聴覚室）。
昭和57年 10月	愛鳥モデル校指定（群馬県知事）～62年3月。
昭和58年 3月31日	31代校長 阿久沢 光四郎 職を辞す
昭和58年 4月1日	32代校長 飯塚 正三
昭和60年 3月	愛鳥愛護校指定（大日本猟友会）。
昭和60年 3月31日	32代校長 飯塚 正三 職を辞す
昭和60年 4月1日	33代校長 大塚 勝久
昭和60年 8月	校庭整地工事完了。
昭和61年 6月	視聴覚教室備品充実。
昭和61年 8月	校庭南側防球ネット加設工事。
昭和62年 5月	群馬県鳥獣保護功労者（団体）知事表彰。

昭和63年 4月	親子20分間読書運動推進校指定2カ年。
昭和63年 8月	校内テレビ放送(含ｽﾏﾂﾛ)設置。
平成元年 4月1日	34代校長 長岡 宥光 教育課程研究指定校(学校図書館)2カ年。
平成2年 12月	小学校教育課程研究指定校発表会。
平成4年 4月1日	35代校長 小林 庸七
平成7年 4月1日	36代校長 大城 道子
平成7年 8月	理科実験台修理。
平成8年 4月	社会福祉協力校指定(第一年次)。
平成9年 4月1日	37代校長 神山 義樹
平成9年 12月	「緑の少年団」結成。
平成10年 9月	コンピュータ室設置。
平成11年 9月	校舎耐震補強工事完了。
平成12年 2月	「交通少年団」結成。
平成12年 4月1日	38代校長 田村 澄子
平成12年 9月5日	ALTが毎週火曜日に来校。
平成13年 4月	Englishﾎｰﾑ設置。
平成14年 3月	校旗新調。
平成15年 4月	学校評議員制度導入。
平成17年 4月1日	39代校長 小林 郁夫
平成17年 6月	学校安全パトロール開始。
平成18年 2月20日	渋川市と合併。渋川市立刀川小学校と改称。
平成19年 4月1日	40代校長 中林 國夫
平成21年 4月1日	41代校長 疋田 克彦
平成23年 3月24日	東日本大地震で被災した福島県の児童を受け入れて卒業式を挙 行。
平成23年 5月	「青少年赤十字」(JRC)に加盟。
平成23年 9月	校庭タイヤ跳び設置。
平成23年 11月2日	渋川市教育実践研究会で会場校として実践発表。
平成24年 4月1日	42代校長 齊藤 いよる
平成24年 4月	体育館通路スロープ工事 校舎北側非常口スロープ工事 保健室校庭側出口段差解消工事
平成24年 5月21日	金環日食観察会(21日)
平成25年 2月5日	渋川市小中学校再編に伴う保護者説明会(於 滝沢ｸﾗﾌﾞ)
平成25年 3月	プールフェンス取り替え工事
平成25年 6月25日	学校再編保護者説明会(14:50～15:50)
平成25年 10月12日	平成25年度ベイシア21世紀財団助成事業 助成金贈呈式
平成25年 11月	プール濾過器改修工事
平成25年 11月28日	学校保健委員会「食育 お弁当の日に関する講演会」
平成26年 1月10日	第1回「学校再編検討地区委員会」開催
平成26年 2月17日	大雪のため臨時休校3日間
平成26年 2月19日	
平成26年 3月14日	第2回「学校再編検討地区委員会」開催
平成26年 6月25日	第3回「学校再編検討地区委員会」開催
平成26年 8月28日	第4回「学校再編検討地区委員会」開催
平成26年 11月19日	第7回群馬銀行環境財団教育省 特別賞受賞
平成26年 11月20日	健康推進校 入選校受賞
平成26年 12月16日	第5回「学校再編検討地区委員会」開催
平成27年 1月20日	第6回「学校再編検討地区委員会」開催
平成27年 2月23日	第1回「刀川小・三原田小学校再編検討合同地区委員会」開催
平成27年 4月1日	43代校長 阿部 泰博
平成27年 4月20日	第2回「刀川小・三原田小学校再編検討合同地区委員会」開催
平成27年 5月25日	第3回「刀川小・三原田小学校再編検討合同地区委員会」開催
平成27年 7月6日	第4回「刀川小・三原田小学校再編検討合同地区委員会」開催



渋川市立南雲小学校閉校式 次第

～144年間見守ってくれてありがとう～

平成29年3月24日（金）

14:00 開式

南雲小学校体育館

- 1 開式の言葉
- 2 国歌斉唱
- 3 主催者あいさつ 渋川市長
渋川市教育委員会教育長
- 4 学校長あいさつ 南雲小学校長 狩野 俊輔
- 5 来賓あいさつ 渋川市議会議長
歴代PTA会長代表 中山 精治 様
- 6 来賓紹介
- 7 閉校記念品授与 （市長から児童代表へ）
- 8 呼びかけ 全児童
- 9 児童合唱 「かけがえのない仲間（とも）」 全児童
- 10 校歌斉唱 南雲小学校校歌
- 11 校旗返納 （校長並びに児童代表から市長へ）
- 12 閉式の言葉

I 学校の概要

1 学校の名称と所在地

渋川市立南雲小学校

〒379-1102 群馬県渋川市赤城町長井小川田 1435 番地 電話 0279 (56) 2911

2 学校区の概要

渋川市の東北に位置し、赤城大沼から流れ出す沼尾川の溪谷南雲谷に沿って散在する三つの大字、「深山」「長井小川田」「北赤城山」の集落から成り立つ農山村を学校区としている。住民には「兵藤」「茂木」「大島」「石田」「須田」の姓が多く、姓によって住居が分かるほどである。

歴史的には古くから開けた地域であり、江戸時代には沼田街道の本陣所在地として栄え、旧跡・伝統行事が数多く残されている。戦前までは、地場産業として雑穀・養蚕などを中心とした農業と林業が盛んであった。

昭和22年のカスリン台風による大水害により壊滅的な打撃を受けた。その後、住民の大変な努力によって立ち直り、今日では営農方法の近代化や機械化によって大規模な果樹園芸・畜産・こんにゃく栽培などを専業にするまでに復興した。

近年は自家用車の普及や大規模農道の整備、ゴルフ場建設、化学工場誘致等により、第二次産業・第三次産業への従事者が増加しており、農業人口は減少している。保護者の多くは会社員・公務員、建設業、商業関係に従事しており、専業農家の割合は大幅に少なくなっている。

公共施設としては、キャンプ場・赤城親水公園などの自然と触れあう施設があり、多くの人が利用している。シーズンになると沼尾川ではヤマメなどの溪流釣りを楽しむ釣り人も多く訪れている。

交通機関は、マイクロバスが運行しているのみで、やや生活の不便さはあるが、山と田畑の中で静かに穏やかに生活が営まれているといえる。近隣との交流は旧渋川の他に沼田市や昭和村、北橋町との物的・人的な交流が盛んに行われている。

教育に関する関心は高く、学校への協力態勢が昔からある地域である。子どもたちの安全確保に向け防犯対策等は地域をあげて取り組んでくれる地域である。

緑豊かで自然に恵まれた地域で、深山地区のモロコシ山・ヤハズ山周辺には、群馬県天然記念物「ヒメギフチョウ」が生息しており、住民あげて保護活動に取り組んでいる。豊かな自然を大切に、自然と共に生活している地域である。

3 沿革の概要 (※ 明治6年～19年歴代校長の詳細不明)

明治	6年	2月	4日	長井小川田字辻久保に横野小学校の名称で設立	
	19年	4月	1日	初代校長 長谷川 哲三	
	20年	3月	26日	長井小川田尋常小学校と改名	
	20年	6月	7日	第2代校長 市之郷 倭四郎	
	22年	5月	5日	校舎竣工し、開校式をあげる	
	23年	10月	13日	町村改正により本校の位置を敷島村大字長井小川田10番地に指定 第二敷島尋常小学校と称す	
	28年	4月	4日	第3代校長 角田 圓造	
	32年	5月	28日	第4代校長 中村 勝弥	
	33年	8月	23日	第5代校長 石井 彦三郎	
	34年	4月		敷島北尋常小学校(高等科併置)となる	
	36年	4月	8日	第6代校長 鹿沼 禄扶	
	40年	10月	28日	第7代校長 角田 圓造	
	41年	12月	6日	新校舎落成式举行	
	43年	5月	31日	第8代校長 木島 由太郎	学級数不明、児童数308名
大正	13年	5月	31日	第9代校長 平石 卯作	通常学級12、児童数365名
		10月	30日	校舎増築落成式举行	
昭和	3年	3月	31日	第10代校長 新井 丑丸	通常学級12、児童数379名
	4年	12月	24日	校庭埋め立て工事終了	約70坪増加
	8年	3月	31日	第11代校長 逸見 四郎	通常学級12、児童数479名
	10年	3月	31日	第12代校長 船津 幸太郎	通常学級10、児童数492名

10年	9月25日	沼尾川増水、山崩れ有り、児童1名溺死す
12年	3月31日	第13代校長 伏島 嘉久弥 通常学級10、児童数535名
15年	6月31日	第14代校長 進邦 武雄 通常学級12、児童数552名
16年	4月	敷島村北国民学校と改称
17年	3月31日	第15代校長 村田 千秋 通常学級12、児童数558名
18年	3月31日	第16代校長 本間 喜三郎 通常学級12、児童数536名
19年	3月31日	第17代校長 角田 雅雄 通常学級12、児童数551名
21年	3月31日	第18代校長 松村 春美 通常学級12、児童数584名
22年	4月1日	敷島村立敷島北小学校と改称
22年	4月19日	第19代校長 小峰 丈夫 通常学級12、児童数430名
22年	9月15日	カスリン台風による大水害のため児童10名水死、被災児童153名におよぶ
27年	4月1日	第20代校長 狩野 岩太郎 通常学級11、児童数350名
31年	9月1日	赤城村立南雲小学校と改称（町村合併）
33年	12月15日	校舎増築落成式
34年	4月1日	第21代校長 狩野 勝平 通常学級12、児童数489名
37年	4月1日	第22代校長 須田 武雄 通常学級12、児童数470名
38年度～39年度		県指定科学教育研究校となる
41年	4月1日	第23代校長 羽鳥 健児 通常学級11、児童数357名
43年度		県指定学校保健研究校となる
45年	3月	児童文集「なぐも」第1号発刊
45年	4月1日	第24代校長 須田 健次 通常学級8、特別支援学級1、児童数287名
45年	5月4日	校歌制定 作詞：石田敬次郎 補作：鈴木比呂志 作曲：橘爪芳男
45年度～46年度		県指定体育研究校となる
48年	4月1日	第25代校長 細野登代三郎 通常学級6、特別支援学級1、児童数238名
49年	7月13日	開校100周年記念植樹
50年	2月4日	開校100周年記念式典挙行「100年の歩み」発行
	4月1日	第26代校長 加藤 恒雄 通常学級6、特別支援学級1、児童数226名
	8月4日	学校プール完成
52年	9月7日	学校改築のため、プレハブ仮校舎にて授業開始
53年	4月1日	第27代校長 須田 波平 通常学級6、特別支援学級1、児童数186名
	5月15日	校舎落成（2億2千7百万）
56年	3月31日	校庭南側フェンス完成
58年	4月1日	第28代校長 今井 登 通常学級6、特別支援学級1、児童数161名
60年	4月1日	学校無人化となる
61年	4月1日	第29代校長 八木原 元 通常学級6、特別支援学級1、児童数144名
63年	3月15日	「南雲ふるさとかるた」完成
	4月1日	第30代校長 須田 庸一 通常学級6、特別支援学級1、児童数144名
	10月23日	カタクリ移植（ヒメギフチョウの保護、協力児童50名）
平成2年	3月	体育館通路覆い完成
3年	4月1日	第31代校長 竹之内誠三 通常学級6、特別支援学級1、児童数126名
	5月	ヒメギフチョウ保護パトロール（職員3～4名参加）
	7月18日	飼育観察池新設
4年	3月10日	南雲小学校駐車場拡張
	4月1日	群馬県体力づくり実践推進校の指定を受ける（3年間）
	10月7日	校庭に鉄棒等を移転 滑り台・ブランコ・ジャングリズム・回転式ターザンロープ設置
5年	10月18日	防球ネット設置
6年	2月21日	校名看板取り付け（屋上）
	4月1日	第32代校長 横田 秀雄 通常学級6、特別支援学級1、児童数116名
	8月	校庭整地作業工事（グリーンダスト）
	11月4日	群馬県体力づくり実践推進校公開発表
7年	4月1日	ヒメギフチョウ保護活動が文化庁「文化財愛護活動推進方策研究」の委嘱を受ける（1年間）

体育着改定

- 1 1月22日 群馬県健康推進学校「優良校」受賞。
 1 1月24日 群馬県環境教育「最優秀賞」受賞。
 7月31日 尾瀬子供サミット参加（～8月2日、児童2名、教師1名参加）
 1 2月 プール全面塗装完了（680万円）
 9年 2月 4日 自動火災教育論文入選
 4月 1日 第33代校長 宮崎 裕 通常学級6、児童数104名
 5月 4日 ヒメギフチョウ保護全校パトロール
 （全校遠足。参加者：児童103名、教職員11名、保護者11名）
 7月22日 緑の少年団交流大会参加
 1 10月18日 カスリン台風被災50周年現地観察会
 1 10年 1月17日 大雪により体育館の一部破損。アヒル小屋設置
 2月27日 ヤマメ稚魚沼尾川に放流（約3000匹）
 2月 下中記念財団研究論文入選
 5月10日 全国植樹祭参加（児童7名、教師2名）
 6月 3日 福祉体験活動の一環として、デイサービスセンター訪問開始
 1 10月 1日 パソコン教室設置（児童用10台、教師用2台）
 1 11年 2月24日 全国環境教育賞「奨励賞」受賞
 3月16日 三原田小学校栄分校との交流開始
 3月19日 福祉協議会に「歩行器」寄贈
 4月 1日 第34代校長 小池 康彦 通常学級6、児童数87名
 1 12年 4月 「総合的な学習の時間」試行（3年生以上年間70時間）
 9月 英会話学習開始
 1 11月 4日 勢多郡地区別研究集会西部地区会場校
 1 13年 3月 アルミ缶回収収益金より福祉協議会へヘアドライヤー寄贈
 9月 ちゅうでん教育振興会賞受賞
 1 10月22日 全校遠足にて、モロコシ山へカタクリ球根500株移植
 1 12月 5日 環境教育美化奨励賞受賞
 1 14年 3月 1日 群馬県自作視聴覚教材コンクール優秀賞受賞（HP部門）
 3月15日 アルミ缶回収収益金にて福祉協議会へCDラジカセ寄贈
 3月19日 児童会より育成園へ掛け時計寄贈
 4月 1日 社会福祉協力校指定（3年間）
 1 12月15日 よい歯のコンクール学校賞受賞
 1 15年 3月13日 アルミ缶回収収益金より福祉協議会へヘアドライヤー寄贈
 1 12月 パソコン室整備（児童用パソコン20台設置）
 4月 1日 第35代校長 都丸 肇 通常学級6、特別支援学級1、児童数76名
 1 10月16日 4年生「たったひとつの地球」中継放送
 1 16年 4月 1日 通常学級6、特別支援学級1、児童数84名
 6月24日 国家公務員採用研修（授業参観・学校説明）
 1 17年 4月 1日 通常学級6、特別支援学級1、児童数77名
 8月10日 ブロック別へき地教育研究大会開催
 1 12月10日 ドラえもん自然はともだちコンテスト学校賞「環境大臣賞」受賞
 1 18年 2月20日 渋川市立南雲小学校と改称（町村合併による）
 4月 1日 第36代校長 高橋 渉 通常学級6、特別支援学級1、児童数75名
 5月20日 日本善行会春季表彰
 9月26日 AED設置
 1 11月22日 群馬県環境教育賞「特別賞」受賞
 1 19年 1月 5日 群馬県緑の少年団活動自慢コンテスト「最優秀賞」受賞
 4月 1日 通常学級6、特別支援学級1、児童数72名
 1 11月21日 群馬県環境教育賞「奨励賞」受賞
 1 12月 3日 全国野生生物保護実績発表大会「文部科学大臣奨励賞」受賞
 2 0年 1月 9日 群馬県緑の少年団活動自慢コンテスト「特別賞」受賞
 2月10日 チョウ類保全シンポジウムにおいて発表（渋川市民会館）
 2月17日 「ぐんまの自然」県内受賞校研究発表会（ぐんま昆虫の森）
 3月13日 アルミ缶回収収益金よりデイサービスセンターへ長椅子寄贈
 4月 1日 第37代校長 高橋 誠 通常学級6、特別支援学級1、児童数77名

- 7月22日 5・6年生合同で「尾瀬学校」実施 ～23日
- 21年 1月29日 渋川市教科別授業研究会・総合科授業公開
- 3月13日 アルミ缶回収活動収益金にてディサービスセンターへ加湿器1機寄贈
- 4月 1日 通常学級6、特別支援学級1、児童数77名
- 7月 29日 緑の少年団全国大会（～31日・京都・緑の奨励賞受賞）
- 1月 29日 食品容器環境美化協会第10回環境美化優良校特別賞
- 22年 1月30日 県がんばれ！緑の少年団活動発表大会 最優秀賞（ぐんまこどもの国）
- 4月 1日 通常学級5（1・2年複式学級）児童数58名
- 5月16日 渋川市緑化苗木配布会参加（6年生11名）
- 6月20日 TBS「風の言葉」で環境保護活動の一端として本校の活動を紹介
- 8月31日 裏山整備（安全確保）
- 10月 2日 全国緑の少年団活動発表会（6年11名参加）渋川市北橋公民館
緑化機構「みどりの奨励賞」受賞。育樹祭大会会長より「賞状」
- 10月 3日 全国育樹祭参加発表（6年11名参加）川場村21世紀の森
- 23年 1月17日 平成22年度「がんばれ！緑の少年団緑の少年団活動自慢コンテスト
「特別賞」受賞。
- 4月 1日 第38代校長 西山 和子
通常学級5（2・3年複式学級）、特別支援学級1 児童数59名
- 7月31日～8月5日 緑の少年団国際交流事業（6年2名参加）ロシア ハバロフスク
- 8月 9日 Cブロックへき地教育実践研究集会（南雲小学校会場）
- 11月11日 短歌教室スペシャル 今野寿美先生授業（5年生）
- 11月28日 「社会貢献青少年」内閣府特命担当大臣表彰（6年1名参加）
東京代々木国立オリンピック記念青少年センター
- 12月 1日 「広報しぶかわ」（特集「赤城姫の舞う森に」）南雲小学校の取組を紹介
- 24年 1月21日 群馬県エコクラブ交流会（6年2名参加）高崎市新町文化ホール
- 4月 1日 通常学級5（3・4年複式学級）、特別支援学級1 児童数49名
- 5月10日 群馬テレビ取材5年総合「ぐんま一番赤城山の箱入り娘」
- 5月11日 全校自然観察会
- 5月21日 金環日食全校観察会
- 8月 7日 親子ワクワク料理教室
- 10月 6日 21世紀ベシシア助成金贈呈式
- 10月14日 モロコシ山整備（下草狩り・ドングリ苗移植・保護看板設置）
- 11月10日 渋川市父の日大会 6年児童最優秀賞
- 11月12日 朝日新聞社取材「ヒメギフチョウ保護活動について」
- 11月17日 県父の日作文表彰 6年児童最優秀賞
- 12月16日 校地東側池の防護柵設置
- 25年 4月 1日 通常学級5（3・4年複式学級）、特別支援学級1 児童数50名
- 5月 7日 全校自然観察会
- 11月25日 全国野生生物保護実績発表大会（環境省）文部科学大臣奨励賞
- 11月26日 群馬銀行環境財団教育表彰
- 12月 3日 群馬テレビ「みんなの時間」放映
- 26年 4月 1日 第39代校長 狩野 英市 通常学級6 新入生2名 児童数37名
- 4月13日 全校自然観察会事前学習会
- 5月 7日 自然観察会、5・6年ドングリ苗移植
- 27年 4月 1日 通常学級5（1・2年複式学級）、新入生4名、児童数35名
- 5月 7日 自然観察会 5・6年ドングリ苗移植
- 10月18日 父親クラブによるモロコシ山整備、下草刈り
- 28年 4月 1日 第40代校長 狩野 俊輔
通常学級5（1・2年複式学級）、新入生1名、児童数34名